

ムラサキオカヤドカリ

学名	Coenobita purpureus Stimpson		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	オカヤドカリ科		
科名学名	Coenobitidae		
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

県内では1920年代以前には深島で多数の個体が生息していた情報は得られている。数回の現地調査で抱卵した雌を含む数個体の生息が確認されたが、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	深島
分布域	東京都(小笠原諸島), 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県
世界的分布	
生息環境	初夏から初秋の夜間だけは浜辺に生息するが, それ以外は海岸近くの林。
現 状	県内唯一の生息地である深島には海岸近くの自然林中にごくわずかに生息するだけである。
備 考	日本固有種 国指定天然記念物

ヘイケガニ

学名	Heikea japonica (Von Siebold)		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	ヘイケガニ科		
科名学名	Dorippidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし	水産庁：希少種



[選定理由]

日本では駿河湾以西に分布し、元来その個体数は少ない。県内では周防灘海底に生息するが、その分布域は狭く、個体数は多くない。干潟消失による海水富栄養化等生息環境の悪化により個体数の減少が懸念される。

県内分布	周防灘
分布域	駿河湾～九州西岸
世界的分布	韓国, 台湾, 中国南部, ベトナムの各沿岸
生息環境	主な生息域は水深10～30mの貝殻などが多い砂底や泥底をもつ浅海。
現 状	以前は底引き網に多数の個体が採捕されていたが、現在は減少している。
備 考	

ウモレベンケイガニ

学名	Clistocoeloma sinensis Shen		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	ベンケイガニ科		
科名学名	Sesarmidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし	水産庁：



【選定理由】

生息には汽水域の塩性湿地やヨシ原の泥干潟が必要であるが、そのような環境は少ない。県内分布は県北数河川のわずかな範囲に限られており、生息場所の減少は深刻である。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川
分布域	東京湾以南
世界的分布	台湾
生息環境	汽水域の干出した泥干潟において、石や流木などの下に潜んでいる。
現状	生息できる環境は少なく、県内での分布は県北の数河川のわずかな範囲に限られており、確認個体数も少ない。
備考	WWFの指定ランク: 希少

ヒメケフサイソガニ

学名	Hemigrapsus sinensis Rathbun		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	モクズガニ科		
科名学名	Varunidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

県内分布	山国川水系
分布域	本州中部～九州まで
世界的分布	中国
生息環境	河口部や内湾のカキ殻の中
現 状	現時点では、確認は県北1河川のみ。他河川における分布・生息状況は不明であり、今後より詳細な分布調査が必要である。多種と誤同定されることも多い。
備 考	WWFの指定ランク:絶滅寸前

トゲアシヒライソガニモドキ

学名	Parapyxidognathus deianira (de Man)		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	モクズガニ科		
科名学名	Varunidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし	水産庁：



【選定理由】

河川感潮域下部の転石の下などに生息するが、そのような環境は工事等の影響を受けやすい。県内分布は県南の数河川に限られており、いずれの河川においても確認個体数は少ない。

県内分布	番匠川水系, 豊後水道に注ぐ河川
分布域	紀伊半島以南
世界的分布	東南アジア
生息環境	河川感潮域下部の転石の下。
現状	生息しているいずれの河川においても, 確認個体数は少ない。
備考	

ヒメヒライソモドキ

学名	Ptychognathus capillidigitatus Takeda		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	モクズガニ科		
科名学名	Varunidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

県内での分布は限られ、確認されているのは小河川のみであることから、工事等によるわずかな環境の変化によっても、生息地に悪影響をおよぼす懸念がある。

県内分布	番匠川水系, 豊後水道に注ぐ河川
分布域	紀伊半島, 四国, 九州, 沖縄
世界的分布	
生息環境	河川感潮域下部の転石の下。
現 状	どの確認地点においても、本種が生息しているのは河口域の狭い範囲内に限られている。
備 考	

タイワンヒライソモドキ

学名	Ptychognathus ishii Sakai		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	モクズガニ科		
科名学名	Varunidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

河川感潮域下部の転石の下などに生息するが、そのような環境は工事等の影響を受けやすく、環境の変化によって悪影響をおよぼす懸念がある。

県内分布	周防灘に注ぐ河川, 番匠川水系, 豊後水道に注ぐ河川
分布域	静岡県, 紀伊半島, 四国, 九州, 沖縄
世界的分布	台湾
生息環境	河川感潮域の転石の下。
現 状	確認地点での生息状況は安定しているが, 各生息地とも生息範囲は狭い。
備 考	WWFの指定ランク: 希少

ムツハアリアケガニ

学名	Camptandrium sexdentatum Stimpson		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	ムツハアリアケガニ科		
科名学名	Camptandriidae		
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

県内では生息地および確認個体数ともに限られ、水質汚染や土砂の流入などによって生息適地が減少している。本種の置かれている状況は極めて危険な状態にある。

県内分布	山国川水系, 番匠川水系
分布域	相模湾, 紀伊半島, 瀬戸内海, 四国太平洋側, 九州, 沖縄
世界的分布	東南アジア
生息環境	河口域にある低潮帯から潮下帯にかけての泥底。
現状	生息地においても確認個体数は少なく、生息に適した場所も極めて少ない。
備考	WWFの指定ランク: 絶滅寸前

アリアケガニ

学名	Cleistostoma dilatatum de Haan		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	ムツハアリアケガニ科		
科名学名	Camptandriidae		
カテゴリー	大分県：地域個体群 (LP)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

有明海・博多湾での記録はこれまでもあったが、2003年に寄藻川で確認したことで、周防灘に面する地域での初めての記録となった。寄藻川とその周辺小河川でのみ生息し、繁殖個体群を形成している。

県内分布	寄藻川とその周辺小河川
分布域	有明海, 博多湾, 周防灘(大分県北部)
世界的分布	韓国, 中国
生息環境	ヨシ原で、底質が硬めの泥質の地帯に好んで穴居している。
現状	県内では、寄藻川とその周辺小河川でのみ生息し、繁殖個体群を形成している。
備考	WWFの指定ランク:危険

アリアケモドキ

学名	Deiratonotus cristatus (de Man)		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	ムツハアリアケガニ科		
科名学名	Camptandriidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

近年の河口の水質悪化や河川改修により、生息環境が悪くなった生息地が生じてきた。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 大分川水系, 大野川水系, 別府湾に注ぐ河川, 番匠川水系, 豊後水道に注ぐ河川
分布域	本州, 四国, 九州
世界的分布	韓国, 中国
生息環境	河川感潮域下部の泥中や転石の下など。
現状	県内では現在, 数河川においてその生息が確認されているが, 生息域が狭小した地域や個体数が減少した地域もある。
備考	WWFの指定ランク: 希少

カワスナガニ

学名	Deiratonotus japonicus (Sakai)		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	ムツハアリアケガニ科		
科名学名	Camptandriidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：準(NT)	水産庁：



[選定理由]

河川感潮域下部の転石の下などに生息するが、そのような環境は河床改修、砂礫の採取などで容易に失われてしまう。複数河川の感潮域で確認できるが、いずれの河川でも個体数の減少が懸念される。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 大野川水系, 番匠川水系, 豊後水道に注ぐ河川
分布域	相模湾以南沖縄県まで
世界的分布	
生息環境	河川の汽水域上端, 干潮時刻にも水が残る礫質地帯の転石の下。
現 状	県内では現在, 数河川においてその生息が確認されているが, いずれの河川でも個体数は多くない。
備 考	WWFの指定ランク: 絶滅寸前 日本固有種

ヒメヤマトオサガニ

学名	Macrophthalmus (<i>Macrophthalmus</i>) banzai Wada & K. Sakai		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	オサガニ科		
科名学名	Macrophthalmidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

県内分布	番匠川水系
分布域	和歌山県以南西表島まで
世界的分布	中国
生息環境	内湾や河口干潟の砂泥・軟泥底。
現状	現時点では、県南1河川のみでの確認であり、同属のヤマトオサガニ <i>M. japonicus</i> と混在している。分布・生息状況は不明であり、今後はより詳細な調査が必要である。
備考	

チゴイワガニ

学名	Ilyograpsus nodulosus Sakai		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	オサガニ科		
科名学名	Macrophthalmidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

県内分布	番匠川水系
分布域	紀伊半島, 四国, 九州, 沖縄
世界的分布	
生息環境	河口域にある低潮帯から潮下帯にかけての泥底。
現状	近年になって県内での生息が確認されたばかりで不明な点が多く, 今後より詳細な分布調査が必要である。確認地点は1地点のみであり, 確認個体数もそれほど多くはない。
備考	

シオマネキ

学名	Uca (Tubuca) arcuata (de Haan)		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	スナガニ科		
科名学名	Ocypodidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：Ⅱ (VU)	水産庁：希少種



[選定理由]

県内では、埋め立て工事や掘削工事による干潟の減少により、生息場所が狭められており、生息環境の悪化が懸念される。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 大野川水系, 番匠川水系
分布域	静岡県以西の本州, 四国, 九州・沖縄
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 台湾
生息環境	淡水流入で塩分濃度がやや薄くなり, 大潮の日のみに冠水するような泥質干潟。
現状	県内では限定された河川でのみ確認されており, その個体数も少ない。
備考	WWFの指定ランク:危険

ハクセンシオマネキ

学名	Uca (Paraleptuca) lactea (de Haan)		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	スナガニ科		
科名学名	Ocypodidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：Ⅱ (VU)	水産庁：



[選定理由]

県内では河口域高潮帯の埋め立て工事，護岸工事，河口改修により生息場所が完全に消滅した地域があり，生息環境の悪化が懸念される。

県内分布	山国川水系，周防灘に注ぐ河川，大分川水系，大野川水系，別府湾に注ぐ河川，番匠川水系，豊後水道に注ぐ河川
分布域	伊勢湾以西の本州，四国，九州・沖縄
世界的分布	朝鮮半島，中国，台湾
生息環境	塩分濃度がやや薄く適度な硬さをもつ泥砂質干潟や転石地帯の高潮線付近。
現状	個体数が減少している地域もある。砂質の変化により，同一干潟内でも分布域が変化している地域もある。
備考	WWFの指定ランク：危険

ノコギリガザミ種群

学名	Scylla spp.	
目名	十脚目	
目名学名	DECAPODA	
科名	ワタリガニ科	
科名学名	Portunidae	
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：掲載なし
	水産庁：減少種 (ノコギリガザミ)	

アカテノコギリガザミ *S. olivacea*アミノコギリガザミ *S. serrata*トゲノコギリガザミ *S. paramamosain*

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 番匠川水系, 豊後水道に注ぐ河川
分布域	中部東海以南
世界的分布	オーストラリア, ハワイ～西部太平洋, インド洋, アジア～東南アジア
生息環境	汽水域の泥干潟に棲み, 巣穴もよく作る。
現状	日本にはアカテノコギリガザミ, トゲノコギリガザミ, アミノコギリガザミの3種いるが最近まで同定が混迷していた。県内では3種とも確認したが, いずれも数個体で現状は不明。
備考	

マキトラノオガニ

学名	Pilumnus makianus (Rthbun)		
目名	十脚目		
目名学名	DECAPODA		
科名	ケブカガニ科		
科名学名	Pilumnidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

県内分布	番匠川水系
分布域	紀伊半島, 瀬戸内海, 四国太平洋側, 九州, 沖縄
世界的分布	台湾, 中国
生息環境	河口域にある転石地やカキ礁。
現状	近縁他種も含め調査が不足しており, 県内の分布状況は不明な点が多く, 今後より詳細な調査が必要。今のところ確認地点は限られているが, 生息地での個体数は少ない。
備考	WWFの指定ランク: 希少

カブトガニ

学名	Tachypleus tridentatus Leach		
目名	剣尾目		
目名学名	XIPHOSURAN		
科名	カブトガニ科		
科名学名	Limulidae		
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省： I (CR+EN)	水産庁： 絶滅危惧種



[選定理由]

河口砂域の護岸工事や干潟の埋め立てなどによる産卵・育成場の減少が個体数の減少に拍車をかけている。生息域が狭められ絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	別府湾(おもに守江湾), 周防灘
分布域	瀬戸内海, 玄界灘, 周防灘, 別府湾
世界的分布	中国, 台湾, フィリピン, インドネシア
生息環境	干潮時に干潟ができる砂泥質の内湾。
現 状	中津市や杵築市では保護活動が盛んに行われている。
備 考	大分県希少野生動植物の保護に関する条例「指定希少野生動植物に指定」。WWFの指定ランク: 危険。「生きた化石」として系統進化学上, 極めて重要。

アジアカブトエビ

学名	Triops granarius (Lucas) Longhurst		
目名	背甲目		
目名学名	NOTOSTRACA		
科名	カブトエビ科		
科名学名	Apodidae		
カテゴリー	大分県：地域個体群 (LP)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

日本の分布域は全国的に散在し、県内での分布域が国内における分布の南限となっている。今後、農薬等による生息環境の悪化体数の減少が懸念される。

県内分布	山国川水系流域の水田, 筑後川水系流域の水田
分布域	本州, 四国, 九州
世界的分布	アフリカ, 中近東～インド, 中国
生息環境	生息場所は冬季に乾燥期を有する水田。
現 状	県内における確実な分布域は中津市、耶馬溪町、天瀬町のみである。
備 考	県内に広く分布しているのは同属のアメリカカブトエビ <i>T. longicaudatus</i> 。県内の本種に関する調査研究はこれまでほとんどなされていなかったため、分布域の動向など不明な点が多い。